

令和3年度  
下水道に関する人身事故発生状況について  
(令和4年1月末時点)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局  
下水道部

# 1.人身事故発生状況(総括)

(令和4年1月末時点)

令和3年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)			1 (2)	1 (2)
	2. 負傷事故	4 (4)	1 (2)	4 (2)	1 (5)	8 (5)	1 (2)	3 (2)	2 (3)	7 (5)	2 (5)			33 (35)	33 (43)
	合計	4 (4)	1 (2)	4 (2)	1 (5)	8 (5)	1 (2)	4 (3)	2 (3)	7 (5)	2 (6)			34 (37)	34 (45)
	累計	4 (4)	5 (6)	9 (8)	10 (13)	18 (18)	19 (20)	23 (23)	25 (26)	32 (31)	34 (37)			-	-
工事	1. 死亡事故	0 (2)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)			6 (6)	6 (7)
	2. 負傷事故	8 (0)	5 (7)	5 (5)	1 (7)	6 (9)	13 (11)	6 (9)	8 (14)	10 (18)	9 (10)			71 (90)	71 (109)
	合計	8 (2)	5 (8)	6 (5)	1 (8)	7 (11)	13 (11)	7 (9)	9 (14)	10 (18)	11 (10)			77 (96)	77 (116)
	累計	8 (2)	13 (10)	19 (15)	20 (23)	27 (34)	40 (45)	47 (54)	56 (68)	66 (86)	77 (96)			-	-
合計	1. 死亡事故	0 (2)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (1)			7 (8)	7 (9)
	2. 負傷事故	12 (4)	6 (9)	9 (7)	2 (12)	14 (14)	14 (13)	9 (11)	10 (17)	17 (23)	11 (15)			104 (125)	104 (152)
	合計	12 (6)	6 (10)	10 (7)	2 (13)	15 (16)	14 (13)	11 (12)	11 (17)	17 (23)	13 (16)			111 (133)	111 (161)
	累計	12 (6)	18 (16)	28 (23)	30 (36)	45 (52)	59 (65)	70 (77)	81 (94)	98 (117)	111 (133)			-	-

※下段()書きは前年度(令和2年度)の値  
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

## 2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(令和4年1月末時点)

令和3年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 合計
事業主体	1. 都道府県	1	0	1	0	3	0	1	1	3	0			10	12
	2. 政令市	2	0	1	1	2	1	2	1	2	0			12	9
	3. 一般市	0	1	2	0	3	0	1	0	1	2			10	22
	4. 町村	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0			2	2
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	合計	4	1	4	1	8	1	4	2	7	2			34	45
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0			1	2
	2. マンホール	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0			4	6
	3. 処理場	2	1	4	0	6	0	3	2	1	1			20	24
	4. ポンプ場	0	0	0	1	1	0	0	0	3	1			6	8
	5. その他	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0			3	5
	合計	4	1	4	1	8	1	4	2	7	2			34	45
事故類型	死亡事故	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			1	2
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			1	0
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	14. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	1
	負傷事故	4	1	4	1	8	1	3	2	7	2			33	43
	1. 墜落・転落	1	1	1	0	1	1	0	0	2	0			7	16
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	0	1	1	3	0	1	2	1	1			11	12
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0			2	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0			3	1
	5. 転倒	1	0	0	0	2	0	1	0	0	1			5	3
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	2
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	1
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	1
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			1	2
13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	
14. その他	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0			4	4	
合計	4	1	4	1	8	1	4	2	7	2			34	45	
被災者数(人)	1. 自治体職員	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0			3	3
	2. 委託先業者	3	1	4	1	8	1	3	2	6	2			31	47
	3. 第三者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			1	2
	合計(人)	4	1	4	1	8	1	4	2	8	2			35	52
	累計	4	5	9	10	18	19	23	25	33	35			-	-

令和2年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	2. 委託先業者	3	2	1	3	10	2	4	4	4	6	4	4	47
	3. 第三者	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	合計(人)	4	2	2	5	10	2	4	4	5	6	4	4	52
	累計	4	6	8	13	23	25	29	33	38	44	48	52	-

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

# 人身事故情報データベース(維持管理作業)

令和4年1月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者				
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況	
1月											
1	R4.1.19	3.一般市	ポンプ場	②負傷事故 ⑤転倒	ポンプ場の流入ゲート点検作業において、安全帯を装着し昇降設備のステップを降りた後、待機中に振り返った際に、流入ゲート内の湿度が高くメガネが曇っていたことやステップを降りたことで緊張が緩み周囲確認不足となったことが原因で、開口部(直径50cm)に気付かず、足を踏み外して転倒し、右わき腹を強打した。	・動作前に周囲の状況の確認を行う ・曇った眼鏡のまま行動を起さない ・開口部用落下防止網を作成する ・危険予測の習慣化を徹底する	委託先業者	29	男	肋骨骨折	
2	R4.1.24	3.一般市	処理場	②負傷事故	②はさまれ・巻き込まれ	処理場内において給気ファン回転軸へ潤滑油注入作業中に、停止していたファンが風により回転したため、作業員が手で止めようとしたところ、回転部に左手中指の先端部が挟まれ負傷した。	・作業時は、作業する部屋の扉を全て閉め、外部からの風等外力の侵入を防ぐ ・グリスニップル(注入口)をホース等にて延長して、回転物に接しない状況で作業を行う ・回転物には手で触れないことについて、改めて作業員の再教育の場を設ける	委託先業者	40	男	左中指開放骨折

:死亡事故
  :負傷事故
  :物損事故

### 3.事故発生状況(工事) (令和4年1月末時点)

令和3年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 合計
事業主体	1. 都道府県	0	1	1	1	2	2	1	0	1	0			9	6
	2. 政令市	6	3	4	4	9	9	3	0	1	3			42	60
	3. 一般市	4	2	2	0	2	7	3	11	8	10			49	71
	4. 町村	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1			4	11
	5. その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			1	1
	合計	10	6	9	5	13	18	8	11	11	14			105	149
工事分類	1. 管きょ開削	6	2	8	4	7	12	6	6	7	9			67	93
	2. 管きょ推進	1	2	0	0	0	2	0	2	1	1			9	19
	3. 管きょシールド	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0			1	2
	4. 管きょその他	2	1	1	0	1	0	1	2	1	2			11	10
	5. 処ポ土木建築	1	1	0	0	2	1	0	0	1	1			7	15
	6. 処ポ機械電気	0	0	0	0	1	3	1	0	0	1			6	8
	7. 処ポその他	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0			4	2
	合計	10	6	9	5	13	18	8	11	11	14			105	149
事故類型	1. 墜落・転落	0	0	0	1	1	4	0	1	1	2			10	18
	2. はさまれ・巻き込まれ	3	4	3	0	1	4	4	0	5	3			27	30
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0			1	7
	4. 切れ・こすれ	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0			4	4
	5. 転倒	1	0	0	0	1	0	0	2	3	2			9	4
	6. 激突	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1	13
	7. 土砂崩壊	1	0	0	0	1	1	0	1	0	3			7	11
	8. 交通事故	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0			3	2
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	12-1. 公衆災害(人身)	0	0	0	0	0	1	3	2	0	0			6	15
	12-2. 公衆災害(物損)	2	1	3	4	6	5	1	2	1	3			28	38
	13. 作業車両の横転	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1			2	1
	14. その他	1	0	0	0	2	1	0	2	1	0			7	6
合計	10	6	9	5	13	18	8	11	11	14			105	149	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	1	0	1	0	1	1	0	2			6	7
	2. 重傷(全治1ヶ月以上)	7	4	5	1	4	11	3	4	9	6			54	83
	3. 軽傷(全治1ヶ月未満)	1	1	0	0	2	2	3	4	1	3			17	26
	合計(人)	8	5	6	1	7	13	7	9	10	11			77	116
累計	8	13	19	20	27	40	47	56	66	77			-	-	
その他(民間発注工事など)															
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0

令和2年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 死亡	2	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	7
	2. 重傷	0	4	4	6	8	6	8	13	12	7	11	4	83
	3. 軽傷	0	3	1	1	1	5	1	1	6	3	3	1	26
	合計(人)	2	8	5	8	11	11	9	14	18	10	14	6	116
累計	2	10	15	23	34	45	54	68	86	96	110	116	-	
その他(民間発注工事など)														
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース(工事)

令和4年1月末時点

NO.	発生日月				事故概要	発生場所	事故類型	被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業				年齢	性別	被害状況
<b>1月</b>										
1	R4.1.7	3.一般市	6.処ボ機械電気	その他	ポンプ場から屋外にある現場事務所へ移動する際に、降雪の影響で床面が凍結していたことにより、足元が滑り、ポンプ場出入口付近で転倒し、負傷した。	現場内	5.転倒	49	男	左手首骨折、左肘骨折(全治1ヶ月以上)
2	R4.1.11	3.一般市	1.管きよ開削	掘削作業	立坑築造に伴う試掘作業時、バックホウで掘削していたところ、ガス管(φ50)を損傷させた。工事着手前にガス業者と図面での埋設位置の確認および現場における供給管の位置出しを行い、埋設位置を詳細に把握していたが、当初と異なる位置に供給管が埋設されていた。	現場内	12-2.公衆災害(物損)	-	-	ガス管(φ50)損傷
3	R4.1.12	3.一般市	1.管きよ開削	左官工	分水槽の流入部に組まれた足場を降りる際に、踊り場の開口部(高さ2.1m)から足を踏み外し、安全帯を装着していなかったため墜落した。作業員は作業初日であり、足場の状況をよく把握しておらず、降り際の足元の確認を怠り、事故発生に至った。	現場内	1.墜落・転落	60	男	左肋骨2本骨折(全治1ヶ月以上)
4	R4.1.14	2.政令市	1.管きよ開削	掘削作業	ガス引込管直上に埋設されていた埋設表示テープ(H=約0.6m)をバックホウにて撤去したところ、埋設表示テープと引込管の隙間がなく、バックホウにてガス管(φ25)を損傷させた。	現場内	12-2.公衆災害(物損)	-	-	ガス管(φ25)損傷
5	R4.1.14	3.一般市	5.処ボ土木建築	土留支保工	クレーンオペレーターが本体フック止めから親フックを外れたとを誤認してしまい親フックを巻き上げたところ、取り外し作業をしていた作業員の左手が本体フック止めと親フックの間に巻き込まれ、負傷した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	56	男	左手(中指、薬指、小指)負傷(全治1ヶ月未満)
6	R4.1.15	3.一般市	1.管きよ開削	準備工	バックホウから降りる際にキャタピラに足を載せたところ、表面に霜が降りていたために足を滑らせて転倒し、負傷した。	現場内	5.転倒	58	男	左大腿骨頸部骨折(全治1ヶ月以上)
7	R4.1.17	3.一般市	1.管きよ開削	埋戻作業	下水道管の埋戻し作業時に地表面GL-1.0m程度まで埋戻しが完了したためアルミ矢板の引き抜きをおこない、引き続き埋戻し作業を行っていたところ、側面の土砂が崩落し、作業員の右足膝下部を直撃し、右足を負傷した。	現場内	7.土砂崩壊	68	男	右脛骨腓骨骨折・腰部、骨盤部打撲(全治1ヶ月以上)
8	R4.1.19	3.一般市	4.管きよその他	コンクリート打設工	汚水幹線建設工事に付帯する既設排水路の嵩上工事において、県道歩道内からクレーン機能付きバックホウにてコンクリートホッパーを吊り込み、打設作業をしていたところ、バックホウが県道下へ横転し、運転していた作業員が投げ出され、バックホウの履帯と擁壁に挟まれて心臓停止となり、救急搬送されたが、死亡した。	現場内	13.作業車両の横転	49	男	死亡
9	R4.1.18	2.政令市	4.管きよその他	管渠更生工	管渠更生工を実施するにあたり、製管機を試運転中に2次下請負人の作業員が製管機のローラーと更生材の位置を調整するための角材(10cm四方、延長1.2m)と機械の間に左手指を挟み負傷した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	38	男	左手指骨折(全治1ヶ月未満)
10	R4.1.19	4.町村	1.管きよ開削	-	作業員が管路敷設時に仮固定するための土のうを地上から掘削穴に吊ロープで下ろしていたところ、身体のバランスを崩して地上から3m墜落し、負傷した。	現場内	1.墜落・転落	52	男	全身打撲、肋骨一部骨折(全治1ヶ月以上)
11	R4.1.25	3.一般市	1.管きよ開削	掘削作業	開削工法による下水道取付管施工において、バックホウで掘削後、土留等は設置しないまま作業員1名が深さ1.3mの掘削穴に入り、下水道本管付近を人力掘削していたところ、側面の土砂が崩壊し、崩壊の衝撃で重傷を負った。	現場内	7.土砂崩壊	43	男	腰椎骨折(全治1ヶ月以上)
12	R4.1.26	2.政令市	2.管きよ推進	その他	18時5分頃(作業時間外)に道路陥没が発生し、陥没箇所付近を通過した自動車1台がバンク及びバンパーを損傷した。道路陥没発生箇所は、2日前に地中を掘進した箇所であった。	現場内	12-2.公衆災害(物損)	-	-	自動車の右前輪バンク及びバンパー損傷
13	R4.1.28	3.一般市	1.管きよ開削	埋戻作業	開削工法による下水道管路の布設工事(夜間施工)において、幅0.9m、深さ約2.5mの埋戻し作業中に、約2.1mの深さまで埋戻した状態で、土留め矢板を引き抜いたところ、埋戻し土を敷き直すために作業員が掘削穴へ下りた際に、側面の土砂が崩落し、その作業員が生埋めとなり、意識不明により救急搬送されたが、死亡した。	現場内	7.土砂崩壊	18	男	死亡
14	R4.1.31	3.一般市	1.管きよ開削	玉掛け作業	工事資材置き場にて、作業員がユニットの荷台へH鋼を積み下ろす作業を行っていたところ、H鋼と荷台との間に右腕を挟み負傷した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	36	男	全身打撲、肋骨一部骨折(全治1ヶ月未満)

死亡事故 : 負傷事故 : 物損事故

令和3年度  
下水道に関する水質事故等発生状況について  
(令和4年1月末時点)

国土交通省 水管理・国土保全局  
下水道部

# 水質事故等発生状況

(令和4年1月末時点)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)			34 (50)
	累計	2 (9)	5 (12)	6 (18)	8 (21)	13 (26)	19 (28)	26 (30)	28 (35)	32 (38)	34 (43)			- -

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (2)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (2)	2 (2)	1 (0)	2 (1)	1 (3)			8 (15)
	2. 政令市	0 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (2)	2 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (3)	0 (2)	0 (0)			10 (8)
	3. 一般市	2 (6)	1 (2)	1 (4)	1 (1)	2 (4)	3 (0)	2 (0)	1 (2)	2 (0)	0 (1)			15 (24)
	4. 町村	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			1 (3)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			0 (0)
	合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)			34 (50)
発生施設	1. 管渠	2 (5)	1 (1)	0 (2)	1 (1)	0 (0)	4 (0)	3 (0)	0 (1)	2 (1)	1 (2)			14 (15)
	2. マンホール	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	1 (1)	2 (0)	0 (2)	0 (2)	0 (1)			7 (10)
	3. 処理場	0 (3)	0 (2)	0 (1)	1 (0)	1 (2)	0 (1)	2 (1)	1 (1)	2 (0)	0 (1)			7 (14)
	4. ポンプ場	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (1)			4 (5)
	5. その他	0 (1)	1 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)			2 (6)
	合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)			34 (50)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	0 (3)	1 (3)	0 (5)	0 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	0 (4)	3 (1)	0 (0)			10 (25)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	2 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (0)			8 (7)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	0 (4)	1 (0)	0 (1)	2 (1)	2 (2)	4 (1)	3 (0)	2 (0)	0 (1)	2 (5)			16 (18)
	合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)			34 (50)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)			0 (2)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)			1 (3)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (2)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)			4 (7)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	2 (0)	2 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)			5 (5)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	1 (5)	0 (1)	1 (2)	1 (2)	3 (1)	1 (1)	3 (1)	0 (2)	3 (2)	2 (2)			15 (22)
	⑥ その他事故(①~⑤以外の事故)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			3 (1)
	水質事故 合計	2 (9)	1 (2)	1 (4)	2 (2)	5 (4)	4 (2)	6 (2)	1 (3)	4 (2)	2 (4)			28 (40)
	その他案件	0 (0)	2 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (2)	0 (1)	0 (1)			6 (10)
水質事故等 合計	2 (9)	3 (3)	1 (6)	2 (3)	5 (5)	6 (2)	7 (2)	2 (5)	4 (3)	2 (5)			34 (50)	
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (2)	0 (2)	1 (0)	0 (0)			3 (5)
	② 耐用年数以内	1 (0)	2 (1)	0 (1)	1 (2)	0 (1)	3 (1)	3 (0)	0 (1)	1 (2)	1 (3)			12 (13)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			0 (0)
	合計	1 (0)	2 (2)	0 (1)	1 (2)	0 (1)	4 (1)	4 (2)	0 (3)	2 (2)	1 (3)			15 (18)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※( )書きは、前年度(令和2年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

# 水質事故等情報データベース

令和4年1月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	事故への対応
<b>1月</b>						
1	R4.1.11	1.都道府県	ポンプ場	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	<p>汚水中継ポンプ場内に埋設された圧送管渠の破損により、ポンプ圧送ができなくなり、汚水が中継ポンプ場で溢れ出す事故が発生した。</p> <p>応急対応として中継ポンプ場に滞留した汚水をバキューム車により近隣処理場へ流下するマンホールまで運搬するとともに、破損した圧送管渠の部品交換及び中継ポンプ場の漏水箇所周囲をコンクリートで打設し止水措置を行った。 事故原因については検証中であり、その後、本格的な対策について実施する予定。</p>
2	R4.1.25	4.町村	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	<p>1 軒の宅地から汚水が染み出しているとの報告を受け、現地を確認したところ、宅地内に設置された宅内ますから汚水が染み出していることが確認された。</p> <p>宅内ますの下流にある浄化センター付近でバキューム車による汚水吸引を行い、浄化センター内のマンホールに流入させた。バキューム車による吸引作業の開始後、宅地内からの染み出しは解消された。今後、バイパス管を設置し、原因の確認を行う(浄化センター付近の管渠内で土砂が詰まっている可能性があること。)</p>